

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 中間評価

達成度(評価)	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	佐賀市立金立小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<p>・校内研究の取組の一つとして「授業づくりチェックシート」の共通理解を図り、チェックシートを活用した研究授業を全員行うことができた。</p> <p>・日頃から、学級内の人間関係づくりにおいて信頼関係の構築に力を注ぎ、学級・学年の状況やつながりをより豊かにしていくことができた。今後も定期的にアンケートを実施することで、「いじめ」の早期発見・事案対応に万全を尽くしたい。</p> <p>・今年度も、コロナ禍のため、地域との交流が例年通りにはできなかったが、人数制限や規模を縮小しながら、実施することができた。次年度は、地域との関わりを深めていくために、「開かれた学校づくり」の充実を図り、保護者や地域の方の意見や思いをより多く取り入れながら、地域との絆の構築に努め、「コミュニティスクール」に取り組みしていきたい。</p> <p>・「働き方改革」については、個人差はあるものの残業時間の短縮など一定の効果をおよぼすことができた。今後さらに、全職員で効率的な業務推進に取り組む意識をもつことができるように、日々の業務について研修を深めて推進していく。また、ICT機器の活用や共有フォルダ運用をさらに推進して業務の効率化を目指していく。</p>
---------------	---

2 学校教育目標	志高く 心豊かに 学ぶ金立
----------	----------------------

3 本年度の重点目標	①目指す子ども像(かしこい子・やさしい子・たくましい子・ふるさとを愛する子)の確かな実現 ②特別支援教育の充実 ③働きやすい職場環境づくり ④地域・保護者に開かれた学校づくり
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上。	・教職員間で、マイプランを共有するとともに、校内研修などにより、取組の促進を図る。	B	・全国学習状況調査の結果から課題を把握し、今後の授業を改善する研修会を行った。また、マイプランの実施状況を定期的に確認し、成果指標を達成できるように改善していく。	・	・	・	・	・学力向上対策(真崎) ・研究主任(藤松)
	○学段の授業の不断の見直し	○児童アンケートで「金立小学校 学習の約束」を守れていると回答した児童の割合が95%以上。 ○児童アンケートで「授業は分かりやすい」と回答した児童の割合が95%。 ○教職員アンケートで「金立小 授業づくりチェックシート」に沿って、普段の授業の振り返りや見直しを行っていることに肯定的に回答した教員が90%以上。	・「金立小学校 学習の約束」を学級に提示し、学級で取り扱う。 ・「授業づくりチェックシート」を活用し、授業を行う。	B	・「金立小学校 学習の約束」を各教室に提示し、児童とめざす姿を共有している。担任は、学期初めや長期連休明け等に学習の約束について確認をしたり、これまでの状況を振り返りしている。 ・「授業づくりチェックシート」について共通理解を図り授業改善を図っている。また、このチェックシートを活用して指導案作成や、授業研究会を行った。	・	・	・	・	・学力向上対策(真崎) ・研究主任(藤松)
	●児童が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○児童アンケートで「人権集会などを通して人権について深く考えることができた」に肯定的に回答した児童の割合が90%以上。 ○学校生活アンケートの道徳に関する項目において、肯定的な回答をした児童の割合が90%以上。 ○読書において、各学年の目標冊数を達成した児童の割合が90%以上。	・毎月第3木曜日に人権集会または、人権教室を行う。 ・学校全体で道徳の別業を作り、実施する。 ・授業参観で「ふれあい道徳」の授業を行い、保護者への啓発を図る。	・	B	・人権集会や人権教室を行うことで、友達のことを理解しようとする意識が見られた。 ・学校生活アンケートで自己肯定感が低いことが分かった。自分のことを認めることができるような場を作っていく必要がある。	・	・	・	・道徳教育推進教員(藤松) ・人権・同和教育担当(三浦)
●心の教育	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○教職員アンケートで「いじめの未然防止及び早期発見・早期解決のための組織的・継続的な対応ができていく」に肯定的に回答した教職員の割合が90%以上。 ○児童アンケートで「学校が楽しい」と回答した児童の割合が95%以上。	・グループ学年を中心に複数の教員で児童に関わり、いじめにつながる言動の早期発見、早期対応に努める。 ・毎月の「いじめのいちを考えると」「生活と心のアンケート」を実施し、気になる児童について情報を把握し、解決を図る。 ・いじめをしない、いじめを許さない児童を育てると共に、支障的風土のある学級作りをする。	B	・グループ学年を中心に複数の教員で児童に関わり、いじめにつながる言動の早期発見、早期対応に努める。 ・毎月1日に「生活と心のアンケート」を実施し、気になる児童について情報を把握し、解決を図る。 ・毎月、全職員で共通理解するために子ども支援会議を開き、気になる児童についてスクールカウンセラーにつなげていく。いじめをしない、いじめを許さない児童を育てると共に、支障的風土のある学級作りをする。	・	・	・	・	・生徒指導(三好) ・教育相談(中原)
	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進	○児童アンケートで「将来の夢や目標をもっている」に肯定的な回答をした児童の割合が80%以上。	・キャリアパスポートを活用し、児童一人一人の個人目標の自己決定に向けた指導の充実を図る。また、その目標達成に向けた取り組みや活動の振り返りを記録し、自己の姿を意欲させるなど、キャリア教育の充実を図る。	B	・総合的な学習の時間や学級活動の学びから、めあてを持ち取り組むことができていた。今後は1年間の成長を感じさせて行くようにキャリア教育の充実を図る。	・	・	・	・	・教務主任 ・特別活動(船津)
	●「運動習慣の改善や定着化」 ●「望ましい生活習慣の形成」	○授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童が70%以上。 ○給食後に歯磨きをする児童の割合を100%。 ○朝食摂取率90%以上。	・「さわやかタイム(縦割り活動)」を実施し、戸外での運動を推奨する。 ・給食後には歯磨きをする児童の割合を100%にする。年3回、朝食についてのアンケートを実施する。 ・養護教諭や栄養職員、歯科校医等と連携して、 ・学期に1回「保健タイム」を実施、養護教諭が作成したスライドを使用し担任による保健指導を実施。 ・校内放送、保健便りを通して感染症予防について保健指導を行う。	・	B	・毎月1回、朝の「さわやかタイム」の時間に、6年生のリーダーを中心に、縦割り班ごとに共有遊びをした。運動場でドッジボールや英語鬼などをして、全校児童で楽しむことができた。 ・「早寝早起き朝ごはん」のアンケートを実施し、朝食摂取率90パーセント以上達成できた。 ・保健タイム後の歯みがきチャレンジ実施。全クラス給食後の歯みがき100%達成。 ・保健タイム2回実施済み、歯に関することや熱中症予防について保健指導し、その中で感染症予防に関連付け歯と口の清潔の重要性や暑い日のマスク着用について注意点を各担任と確認することができた。 ・保健便り発行時に、校内放送を入れ感染症予防について指導	・	・	・	・
●健康・体づくり	○新型コロナウイルス感染防止	○正しくマスクを着用している児童、手洗い消毒をきちんと行っている児童が100%。	・	A	・	・	・	・	・	・健康教育、保健指導(野田) ・各担任
	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務時間の上限を遵守できている。	・共有フォルダを利用して、様式や業務データの共有化を行い、効率的な業務遂行に努める。 ・定時退勤日の設定(金曜日)するとともに、定時退勤日以外の日も退勤時刻を徐々に早められるよう、声掛けをしていく。	B	・共有フォルダを活用し、様式等について共有することにより、業務の改善につなげることができた。 ・全職員の時間外勤務平均時間34時間。 ・各自の勤務時間をPCで入力することにより、業務改善の意識が高まった。 ・引き続き、定時退勤日および定時退勤日以外の日も退勤時刻を早められるよう、声掛けをしていく必要がある。	・	・	・	・	・校長 ・教頭 ・教務主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○勤務規律の保持と働きやすい職場環境づくり	○教職員アンケートで「学校の内外を問わず、危機管理意識をもって行動できている」に肯定的に回答した教職員が100% ○年間を通して、教職員の信用失墜行為0	・毎月10日を「不祥事根絶ゼロの日」の取り組みの日とし、不祥事予防のためのチェックをすることにより、職員の危機管理意識を高める。	A	・4月に、運転免許証および車検証の目視確認を行った。また、更新日が近付いた職員への声かけも行った。 ・「飛翔学園合同研修会(8月)で、服薬についての合同研修を行った。また、毎月10日には、「不祥事根絶ゼロの日」の取り組みとして不祥事予防のためのチェックを実施し、職員の危機管理意識を高めることができた。	・	・	・	・	・校長 ・教頭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○特別支援教育の充実	○個々の児童の「困り感」に寄り添った教育の実現	○教職員アンケートにおいて、「特別支援教育に関する専門性が向上した」について肯定的に回答した教職員の割合が80%以上。「特別支援的配慮を心掛けている」について肯定的に回答した教職員の割合が90%以上。	・年間3回以上研修会を行い、教員の専門的知識を深める。 ・事例研究等で児童理解に努めて、個に応じた指導・支援を行う。 ・各学年、特別支援学校と綿密な計画を立て、年1回ずつの交流を行う。	B	・6月と8月に、発達障害のある児童生徒の理解と支援についての研修会を行った。 ・各学年の特別支援学校との交流は、3年生が実施できた。他の学年も計画しているが、まだ実施できていない。	・	・	・	・	・特別支援教育(牟田口)
○地域連携教育	○ふるさとを愛する児童の育成と地域・保護者に開かれた学校づくり	○児童アンケートで「ふるさと『金立』に愛着をも大切にしようと思う」と回答した児童の割合が90%以上。 ○平均、週に3回以上の学校HPのお知らせ、イベントチャラリ一等の更新を行う。 ○年間を通して、40号以上の学校便りを発行する。	・金立町の教育資源や人材等を活用した「金立郷土カルタ大会」や「金立探検隊」などを通して、ふるさと「金立」のこころを知り、愛着をもつ。 ・「千の花の会」との樹木や「美化美化大作戦」など地域とつながる学校の魅力づくりプロジェクトを実施する。	A	・「金立町ふれあい運動会(9/25)」や地域の行事「はぐれの里祭り」など、コロナ感染予防対策を行いながら、実施することができ、地域とのふれあいが深まった。 ・CSを通して、地域の方に児童の学習支援をしていただいた。	・	・	・	・	・校長 ・教頭 ・教務主任
○幼保小中連携	○雄飛学園教育構想による金泉校区の教育推進	○幼保小中連携協議会や雄飛学園教育研究会において、職員の交流や連携を図る。(連携協議会 3回、合同研修会 3回の実施)	・小中連携の雄飛学園教育や金泉中に入学する仲間意識を高める小中連携交流活動を実施する。 ・長期休業中や参観日等、職員の参観・体験活動を計画的に実施する。 ・職員の間合会議・合同研修会を行い、雄飛学園教育の取り組みを3校合同で推進する。	B	・コロナ禍で、保育参観や運動会での幼年徒走は中止せざるを得なかった。近隣の幼稚園とは連絡を取り合っている。一日学校体験は、感染症対策を行い、実施する予定である。 ・職員の間合会議・合同研修会を行い、雄飛学園教育の取り組みを3校合同で推進する。	・	・	・	・	・教頭 ・幼保小中連携(真崎)

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
----------------	----------------------------